

*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2008年7月17日から2023年11月20日までです。	
運用方針	この投資信託は、主としてブラジルの債券に実質的に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	<UBSブラジル・レアル債券投信(毎月分配型)> UBSブラジル・レアル債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	<UBSブラジル・レアル債券マザーファンド> ブラジルの政府、政府機関もしくは企業等の発行する現地通貨建債券を主要投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	マザーファンドへの投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。(ただし、転換社債の転換請求等により取得した株券に限ります。) 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	原則として、毎決算日に配当等収益および売買益等の中から継続した分配を行うための分配金原資の水準、運用実績および市況動向等を勘案して収益分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないこともあります。	

UBS ブラジル・レアル債券投信 (毎月分配型)

運用報告書 (全体版) (第23作成期)

第129期	決算日	2019年 6月20日
第130期	決算日	2019年 7月22日
第131期	決算日	2019年 8月20日
第132期	決算日	2019年 9月20日
第133期	決算日	2019年10月21日
第134期	決算日	2019年11月20日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「UBSブラジル・レアル債券投信(毎月分配型)」は、去る11月20日に第134期の決算を行いましたので、第129期～第134期(第23作成期)の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町 1-5-1

大手町ファーストスクエア イーストタワー

<お問い合わせ先>

投信営業部

03-5293-3700

<受付時間>

営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く

<http://www.ubs.com/japanfunds>

© UBS 2020. キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

最近5作成期の運用実績

作成期	決算期（決算日）	基準価額 （分配落）	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比	純 資 産 総 額
		円	円	%	%	%	百万円
第19作成期	105期（2017年 6月20日）	5,930	40	1.2	98.4	—	57,145
	106期（2017年 7月20日）	6,230	40	5.7	98.3	—	60,610
	107期（2017年 8月21日）	6,105	40	△ 1.4	98.6	—	59,241
	108期（2017年 9月20日）	6,282	40	3.6	98.3	—	61,610
	109期（2017年10月20日）	6,282	40	0.6	98.4	—	61,796
	110期（2017年11月20日）	6,039	40	△ 3.2	98.2	—	58,785
第20作成期	111期（2017年12月20日）	6,002	40	0.0	97.9	—	56,490
	112期（2018年 1月22日）	6,090	40	2.1	97.4	—	56,136
	113期（2018年 2月20日）	5,805	40	△ 4.0	97.5	—	51,335
	114期（2018年 3月20日）	5,686	40	△ 1.4	92.4	—	48,426
	115期（2018年 4月20日）	5,595	40	△ 0.9	97.8	—	46,651
	116期（2018年 5月21日）	5,167	40	△ 6.9	95.4	—	41,755
第21作成期	117期（2018年 6月20日）	5,044	40	△ 1.6	92.2	—	39,315
	118期（2018年 7月20日）	5,051	40	0.9	95.9	—	38,195
	119期（2018年 8月20日）	4,839	40	△ 3.4	96.7	—	35,509
	120期（2018年 9月20日）	4,623	40	△ 3.6	98.2	—	32,406
	121期（2018年10月22日）	5,206	40	13.5	98.7	—	35,207
	122期（2018年11月20日）	5,150	40	△ 0.3	98.5	—	33,256
第22作成期	123期（2018年12月20日）	4,968	40	△ 2.8	98.0	—	31,377
	124期（2019年 1月21日）	5,018	40	1.8	97.7	—	30,877
	125期（2019年 2月20日）	5,114	40	2.7	98.1	—	30,910
	126期（2019年 3月20日）	5,051	40	△ 0.4	96.5	—	29,857
	127期（2019年 4月22日）	4,861	40	△ 3.0	98.5	—	28,046
	128期（2019年 5月20日）	4,569	40	△ 5.2	93.9	—	25,991
第23作成期	129期（2019年 6月20日）	4,801	40	6.0	99.0	—	26,722
	130期（2019年 7月22日）	4,953	25	3.7	98.2	—	26,632
	131期（2019年 8月20日）	4,491	25	△ 8.8	98.7	—	23,746
	132期（2019年 9月20日）	4,454	25	△ 0.3	98.4	—	22,771
	133期（2019年10月21日）	4,549	25	2.7	98.7	—	22,672
	134期（2019年11月20日）	4,440	25	△ 1.8	98.5	—	21,666

(注1) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 当ファンドの投資対象市場の値動きを示す適切な指数がないため、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

(注5) 債券組入比率は、当ファンドの追加・解約と有価証券売買の計上タイミングがずれること等により、一時的に100%超の数値となる場合があります。（以下同じ。）

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
			騰 落 率	率		
第129期	(期 首) 2019年 5月20日	円	4,569	% -	% 93.9	% -
	5月末		4,695	2.8	97.7	-
	(期 末) 2019年 6月20日		4,841	6.0	99.0	-
第130期	(期 首) 2019年 6月20日		4,801	-	99.0	-
	6月末		4,837	0.7	99.2	-
	(期 末) 2019年 7月22日		4,978	3.7	98.2	-
第131期	(期 首) 2019年 7月22日		4,953	-	98.2	-
	7月末		4,934	△0.4	98.7	-
	(期 末) 2019年 8月20日		4,516	△8.8	98.7	-
第132期	(期 首) 2019年 8月20日		4,491	-	98.7	-
	8月末		4,374	△2.6	98.2	-
	(期 末) 2019年 9月20日		4,479	△0.3	98.4	-
第133期	(期 首) 2019年 9月20日		4,454	-	98.4	-
	9月末		4,468	0.3	99.0	-
	(期 末) 2019年10月21日		4,574	2.7	98.7	-
第134期	(期 首) 2019年10月21日		4,549	-	98.7	-
	10月末		4,715	3.6	99.1	-
	(期 末) 2019年11月20日		4,465	△1.8	98.5	-

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

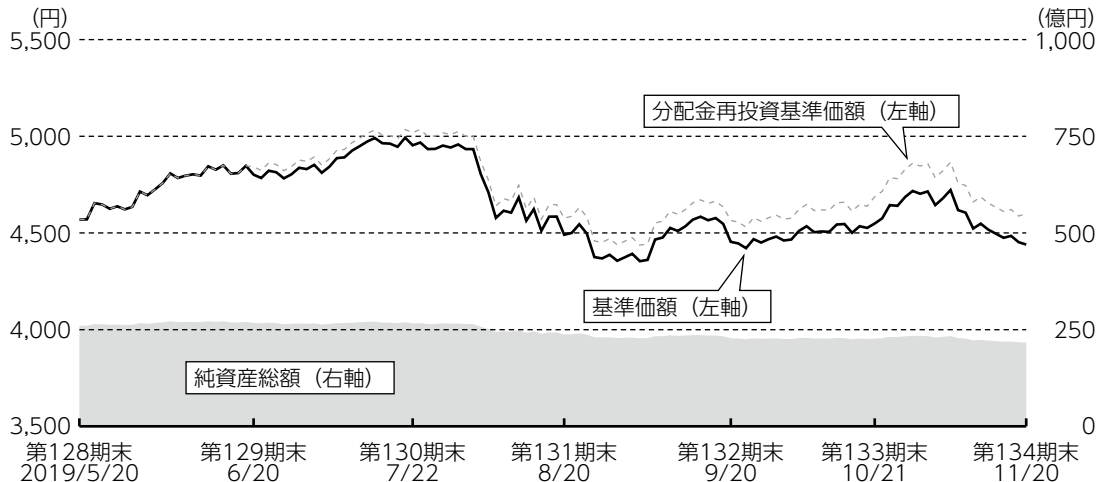
(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注5) 当ファンドの投資対象市場の値動きを示す適切な指数がないため、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

運用経過

基準価額等の推移について

(2019年5月20日～2019年11月20日)



第129期首：4,569円

第134期末：4,440円（既払分配金 165円）

騰落率：0.7%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

当作成期の基準価額は既払分配金165円（税引前）込みで36円値上がりしました。なお、基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は+0.7%となりました。

基準価額の変動要因

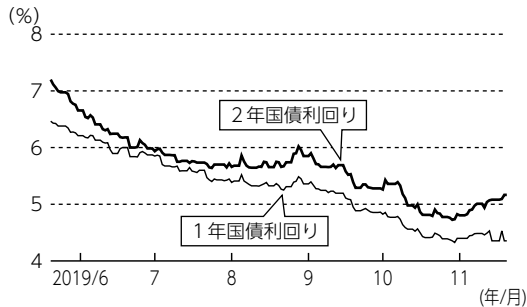
当ファンドの基準価額の上昇要因は、組入れているマザーファンドの基準価額が値上がりしたことです。当作成期のマザーファンドの基準価額は、組入債券からの利子収入や価格変動などのプラス（上昇）要因が、為替変動（リアル安・円高）などのマイナス（下落）要因を上回ったため、値上がりしました。

投資環境について

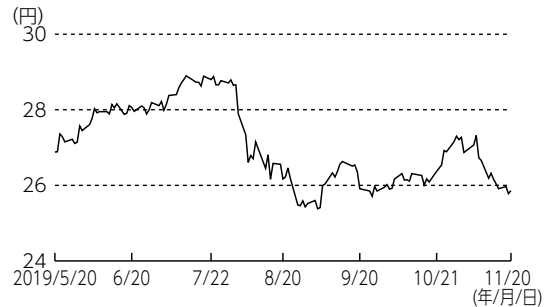
当作成期、ブラジル・レアル建て国債の利回りは低下（債券価格は上昇）しました。作成期の前半、ボルソナロ政権が掲げる年金改革法案への期待感やブラジル中央銀行（BCB）および米連邦準備制度理事会（FRB）の早期利下げ観測、米中通商協議への進展期待などを背景に、ブラジル・レアル建て国債の利回りは低下基調で推移しました。作成期の後半も、2019年10月の年金改革法案の成立や、世界的な金融緩和の流れなどが下支えとなり、ブラジル・レアル建て国債の利回りは概ね低下基調で推移しました。作成期末にかけて、同利回りは幾分反発したものの、結局、前作成期末比で低下して作成期末を迎えました。

ブラジル・レアルは、円に対し前作成期末比で下落しました。作成期の前半、ブラジル国内における年金改革法案の進展期待のほか、FRBの早期利下げ観測などを背景に、ブラジル・レアルは概ね底堅く推移しました。作成期の後半、BCBが国内景気を下支えるべく相次ぐ利下げを決定したことや、米中通商協議に対する警戒感などが重石となった一方で、2019年10月の年金改革法案の成立が好材料となるなど、ブラジル・レアルは一進一退の動きとなりました。11月に入り、ブラジル政府が実施した大規模油田開発の入札が低調となったことや、汚職容疑で収監されていたルラ元大統領が釈放され、現政権への対立姿勢を強めたことなどを受けて、作成期末にかけてブラジル・レアルは下げに転じました。

ブラジル・レアル建て国債市場
＜ブラジル国債利回り＞



ブラジル・レアル／円レートの推移



出所：リフィニティブのデータをもとに当社作成

ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主としてブラジル・リアル建債券に実質的に投資を行いました。なお、マザーファンド受益証券への投資比率は、作成期を通じて高位を維持しました。

マザーファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等の発行するブラジル・リアル建債券に投資し、ブラジル債券市場の動向に概ね連動させるように運用を行いました。

債券種別構成においては、固定利付債の比率を引き下げた一方で、インフレ連動債の組み入れを引き上げました。ポートフォリオ戦略では、金利が中長期セクターを中心に今後低下するとの判断から、デュレーションを小幅に長期化しましたが、金利が想定通り低下する中、徐々にデュレーションの長期化の幅をやや縮小しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの投資対象市場の値動きを示す適切な指数がないため、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

分配金について

当作成期の分配金は、配当等収益の水準等を勘案し、第129期は1万口当たり40円（税引前）とし、第130期から第134期までそれぞれ1万口当たり25円（税引前）といたしました。分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

（1万口当たり・税引前）

項目	第129期	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期
	2019年5月21日～ 2019年6月20日	2019年6月21日～ 2019年7月22日	2019年7月23日～ 2019年8月20日	2019年8月21日～ 2019年9月20日	2019年9月21日～ 2019年10月21日	2019年10月22日～ 2019年11月20日
当期分配金	40円	25円	25円	25円	25円	25円
（対基準価額比率）	(0.826%)	(0.502%)	(0.554%)	(0.558%)	(0.547%)	(0.560%)
当期の収益	9円	25円	16円	1円	7円	25円
当期の収益以外	30円	－円	8円	23円	17円	－円
翌期繰越分配対象額	102円	122円	114円	91円	74円	159円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

投資環境の見通し

ブラジル政府は、引き続き大規模な税制改革、行政改革（公務員の人件費削減など）、州や市への税収配分の見直し、国営企業の民営化、自由貿易協定、規制緩和などの様々な改革に取り組んでいますが、これらの改革のほとんどは、2020年の議会における審議を経る必要があるため時間を要すると考えています。今後の市場の焦点は経済回復の兆しに移っており、改革がもたらす投資の増大や企業信頼感の改善効果などに注目しています。2019年7-9月の同国GDP成長率は、投資増大による恩恵などから予想よりも早いペースで改善傾向にあり、企業信頼感の回復、雇用創出も拡大傾向にあるほか、年末商戦などの個人消費もこれまでのところ好調な状況がみられます。

金融政策において、ブラジル国内のインフレ率は概ね低位安定しており、2019年の年内および2020年の同国インフレ率はBCBのインフレ目標水準を下回ることが予想されます。よって、BCBは2019年12月の会合で利下げを講じ、以後の利下げについてはいったん停止し、これまで実施した利下げの効果を見極めると考えられます。

当ファンドの今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持します。

マザーファンドの今後の運用方針

主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等の発行するブラジル・リアル建債券に投資し、ブラジル債券市場の動向に概ね連動させるように運用を行います。ポートフォリオ戦略については、市場対比でのデュレーションの長期化幅を若干縮小しています。また、インフレ連動債の組み入れ比率を高めています。

1万口当たりの費用明細

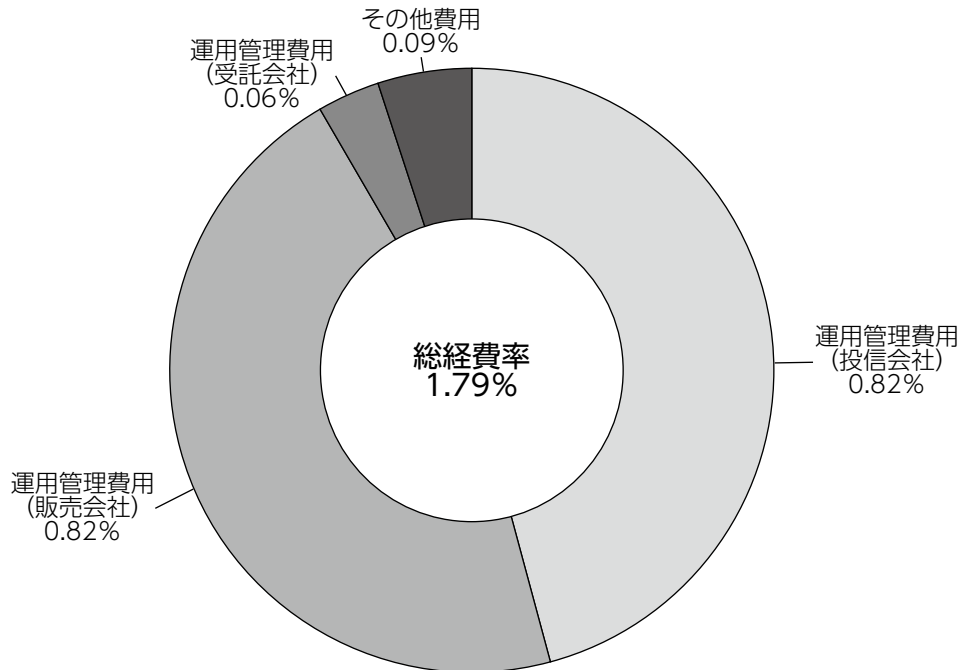
項目	第129期～第134期 2019/5/21～2019/11/20		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	40円	0.857%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は4,670円です。
（投信会社）	(19)	(0.415)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(19)	(0.415)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.028)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	2	0.047	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.042)	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(0)	(0.001)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(0)	(0.001)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	42	0.904	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報） 総経費率



(注1) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注2) 各比率は、年率換算した値です。

(注3) 上記の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.79%です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況（自 2019年5月21日 至 2019年11月20日）

	第 129 期 ~		第 134 期	
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
UBSブラジル・リアル債券マザーファンド	千□ 91,413	千円 135,000	千□ 3,489,709	千円 4,944,000

(注) 単位未満は切り捨て。

利害関係人等との取引状況等（自 2019年5月21日 至 2019年11月20日）

当作成期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

組入資産明細表**親投資信託残高**

(2019年11月20日現在)

項 目	第 22 作 成 期 末	第 23 作 成 期 末 (第 134 期 末)	
	□ 数	□ 数	評 価 額
UBSブラジル・リアル債券マザーファンド	千□ 18,996,945	千□ 15,598,649	千円 21,557,333

(注) □数・評価額の単位未満は切り捨て。

投資信託財産の構成

(2019年11月20日現在)

項 目	第23作成期末（第134期末）	
	評 価 額	比 率
	千円	%
UBS ブラジル・リアル債券マザーファンド	21,557,333	98.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	310,113	1.4
投 資 信 託 財 産 総 額	21,867,446	100.0

(注1) 金額の単位未満は切り捨て。

(注2) UBS ブラジル・リアル債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（30,541,684千円）の投資信託財産総額（30,542,066千円）に対する比率は100.0%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは、1米ドル=108.61円、1ブラジル・リアル=25.86円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年6月20日) (2019年7月22日) (2019年8月20日) (2019年9月20日) (2019年10月21日) (2019年11月20日)

項 目	第 129 期 末	第 130 期 末	第 131 期 末	第 132 期 末	第 133 期 末	第 134 期 末
(A) 資 産	27,113,330,419円	26,934,397,259円	23,981,949,251円	23,061,145,734円	22,912,856,212円	21,867,446,750円
コール・ローン等	146,425,272	135,354,769	124,328,263	122,620,789	112,928,066	111,113,233
UBS ブラジル・リアル 債券マザーファンド(評価額)	26,587,905,147	26,499,042,490	23,625,620,988	22,642,524,945	22,559,928,146	21,557,333,517
未 収 入 金	379,000,000	300,000,000	232,000,000	296,000,000	240,000,000	199,000,000
(B) 負 債	390,398,473	301,564,693	235,134,092	289,171,441	240,259,498	200,537,262
未 払 収 益 分 配 金	222,623,864	134,433,395	132,190,385	127,831,135	124,593,843	122,000,351
未 払 解 約 金	129,773,340	127,838,217	69,054,032	128,049,644	82,869,188	46,616,406
未 払 信 託 報 酬	37,860,455	39,120,140	33,709,709	33,100,452	32,607,388	31,735,601
未 払 利 息	413	381	350	346	318	313
その他未払費用	140,401	172,560	179,616	189,864	188,761	184,591
(C) 純資産総額(A-B)	26,722,931,946	26,632,832,566	23,746,815,159	22,771,974,293	22,672,596,714	21,666,909,488
元 本	55,655,966,209	53,773,358,326	52,876,154,187	51,132,454,058	49,837,537,301	48,800,140,676
次 期 繰 越 損 益 金	△28,933,034,263	△27,140,525,760	△29,129,339,028	△28,360,479,765	△27,164,940,587	△27,133,231,188
(D) 受 益 権 総 口 数	55,655,966,209口	53,773,358,326口	52,876,154,187口	51,132,454,058口	49,837,537,301口	48,800,140,676口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,801円	4,953円	4,491円	4,454円	4,549円	4,440円

(注1) 当ファンドの第129期首元本額は56,893,220,303円、第129～134期中追加設定元本額は1,065,208,087円、第129～134期中一部解約元本額は9,158,287,714円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第129期0.4801円、第130期0.4953円、第131期0.4491円、第132期0.4454円、第133期0.4549円、第134期0.4440円です。

(注3) 第134期末において純資産総額が元本を下回っており、その差額は27,133,231,188円です。

損益の状況

第129期 (自2019年5月21日 至2019年6月20日)
第130期 (自2019年6月21日 至2019年7月22日)第131期 (自2019年7月23日 至2019年8月20日)
第132期 (自2019年8月21日 至2019年9月20日)第133期 (自2019年9月21日 至2019年10月21日)
第134期 (自2019年10月22日 至2019年11月20日)

項 目	第 129 期	第 130 期	第 131 期	第 132 期	第 133 期	第 134 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 12,608円	△ 12,751円	△ 11,742円	△ 10,739円	△ 10,951円	△ 10,557円
支 払 利 息	△ 12,608	△ 12,751	△ 11,742	△ 10,739	△ 10,951	△ 10,557
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,555,149,427	987,270,358	△ 2,276,024,444	△ 31,735,943	634,276,920	△ 381,669,875
売 買 益	1,579,234,403	999,544,143	20,159,857	15,539,081	638,712,518	8,598,222
売 買 損	△ 24,084,976	△ 12,273,785	△ 2,296,184,301	△ 47,275,024	△ 4,435,598	△ 390,268,097
(C) 信 託 報 酬 等	△ 38,000,856	△ 39,292,700	△ 33,889,325	△ 33,290,316	△ 32,796,149	△ 31,920,192
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	1,517,135,963	947,964,907	△ 2,309,925,511	△ 65,036,998	601,469,820	△ 413,600,624
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 8,268,950,352	△ 6,560,294,163	△ 5,611,237,697	△ 7,769,819,338	△ 7,688,189,967	△ 6,952,385,397
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 21,958,596,010	△ 21,393,763,109	△ 21,075,985,435	△ 20,397,792,294	△ 19,953,626,597	△ 19,645,244,816
(配 当 等 相 当 額)	(740,127,615)	(549,764,938)	(541,403,253)	(523,807,496)	(456,015,729)	(362,422,781)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 22,698,723,625)	(△ 21,943,528,047)	(△ 21,617,388,688)	(△ 20,921,599,790)	(△ 20,409,642,326)	(△ 20,007,667,597)
(G) 計 (D + E + F)	△ 28,710,410,399	△ 27,006,092,365	△ 28,997,148,643	△ 28,232,648,630	△ 27,040,346,744	△ 27,011,230,837
(H) 収 益 分 配 金	△ 222,623,864	△ 134,433,395	△ 132,190,385	△ 127,831,135	△ 124,593,843	△ 122,000,351
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△ 28,933,034,263	△ 27,140,525,760	△ 29,129,339,028	△ 28,360,479,765	△ 27,164,940,587	△ 27,133,231,188
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 22,129,793,762	△ 21,393,763,109	△ 21,075,985,435	△ 20,453,789,332	△ 20,039,546,512	△ 19,645,244,816
(配 当 等 相 当 額)	(569,012,083)	(549,845,076)	(541,533,537)	(467,863,534)	(370,126,810)	(363,565,869)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 22,698,805,845)	(△ 21,943,608,185)	(△ 21,617,518,972)	(△ 20,921,645,866)	(△ 20,409,673,322)	(△ 20,008,810,685)
分 配 準 備 積 立 金	49,632	110,247,245	63,250,167	8,065	48,464	415,509,748
繰 越 損 益 金	△ 6,803,290,133	△ 5,857,009,896	△ 8,116,603,760	△ 7,906,705,498	△ 7,125,442,539	△ 7,903,496,120

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 第129期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (51,361,815円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (740,209,835円) および分配準備積立金 (113,929円) より分配対象収益は791,685,579円 (10,000口当たり142円) であり、うち222,623,864円 (10,000口当たり40円) を分配金額としております。

(注5) 第130期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (244,453,212円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (549,845,076円) および分配準備積立金 (227,428円) より分配対象収益は794,525,716円 (10,000口当たり147円) であり、うち134,433,395円 (10,000口当たり25円) を分配金額としております。

(注6) 第131期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (86,180,641円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (541,533,537円) および分配準備積立金 (109,259,911円) より分配対象収益は736,974,089円 (10,000口当たり139円) であり、うち132,190,385円 (10,000口当たり25円) を分配金額としております。

(注7) 第132期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (9,570,302円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (523,853,572円) および分配準備積立金 (62,278,860円) より分配対象収益は595,702,734円 (10,000口当たり116円) であり、うち127,831,135円 (10,000口当たり25円) を分配金額としております。

(注8) 第133期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (38,351,361円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (456,046,725円) および分配準備積立金 (371,031円) より分配対象収益は494,769,117円 (10,000口当たり99円) であり、うち124,593,843円 (10,000口当たり25円) を分配金額としております。

(注9) 第134期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (537,404,180円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (363,565,869円) および分配準備積立金 (105,919円) より分配対象収益は901,075,968円 (10,000口当たり184円) であり、うち122,000,351円 (10,000口当たり25円) を分配金額としております。

分配金のお知らせ

	1万口当たり分配金
第 129 期	40円
第 130 期	25円
第 131 期	25円
第 132 期	25円
第 133 期	25円
第 134 期	25円

- ◇分配金をお支払いする場合
分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
- ◇分配金を再投資する場合
お手持り分配金は、決算日の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。
- ◇分配金の区分について
 - ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。
 - ・分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ◇税金について
分配金は普通分配金に課税され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率が適用されます。

UBSブラジル・リアル債券マザーファンド

第11期（2019年11月20日決算）

（計算期間：2018年11月21日～2019年11月20日）

《運用報告書》

受益者のみなさまへ

「UBSブラジル・リアル債券マザーファンド」は、＜UBSブラジル・リアル債券投信（毎月分配型）＞が投資対象とする親投資信託で、信託財産の実質的な運用を行っております。

ここにマザーファンドの第11期の運用状況をご報告申し上げます。

*当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	この投資信託は、主としてブラジルの債券に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。
主な運用対象	ブラジルの政府、政府機関もしくは企業等の発行する現地通貨建債券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。（ただし、転換社債の転換請求等により取得した株券に限ります。） 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町1-5-1
大手町ファーストスクエア イーストタワー

＜お問い合わせ先＞

投信営業部

03-5293-3700

＜受付時間＞

営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く

<http://www.ubs.com/japanfunds>

UBSブラジル・リアル債券マザーファンド

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率	債券組入率	債券先物率	純資産額
		%	%	%	
7期 (2015年11月20日)	円 10,671	% △23.3	% 99.0	% -	百万円 20,443
8期 (2016年11月21日)	12,732	19.3	99.5	-	50,603
9期 (2017年11月20日)	15,329	20.4	99.5	-	78,193
10期 (2018年11月20日)	14,511	△ 5.3	99.0	-	44,565
11期 (2019年11月20日)	13,820	△ 4.8	99.0	-	30,236

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債券組入率	債券先物率
	騰落率	騰落率		
(期首) 2018年11月20日	円 14,511	% -	% 99.0	% -
11月末	14,290	△1.5	99.1	-
12月末	14,022	△3.4	99.4	-
2019年 1月末	14,641	0.9	98.6	-
2月末	14,806	2.0	99.5	-
3月末	14,240	△1.9	97.1	-
4月末	14,238	△1.9	99.4	-
5月末	13,998	△3.5	98.2	-
6月末	14,562	0.4	99.7	-
7月末	14,952	3.0	99.2	-
8月末	13,339	△8.1	98.7	-
9月末	13,721	△5.4	99.4	-
10月末	14,585	0.5	99.5	-
(期末) 2019年11月20日	13,820	△4.8	99.0	-

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

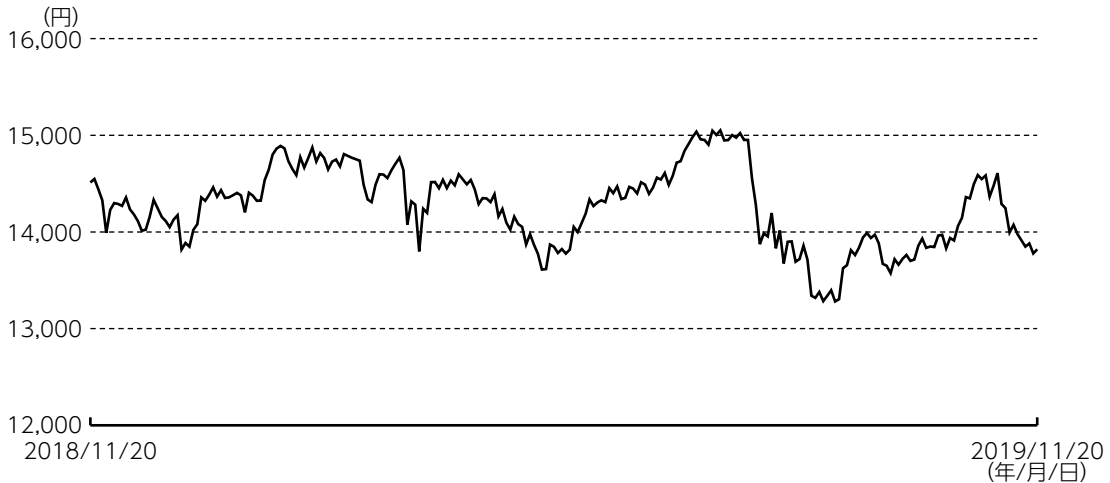
(注3) 当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

(注4) 債券組入率は、当ファンドの追加・解約と有価証券売買の計上タイミングがずれること等により、一時的に100%超の数値となる場合があります。

運用経過

基準価額の推移について

(2018年11月20日～2019年11月20日)



基準価額は期首比で691円値下がりしました。なお、基準価額の騰落率は-4.8%となりました。

基準価額の主な変動要因

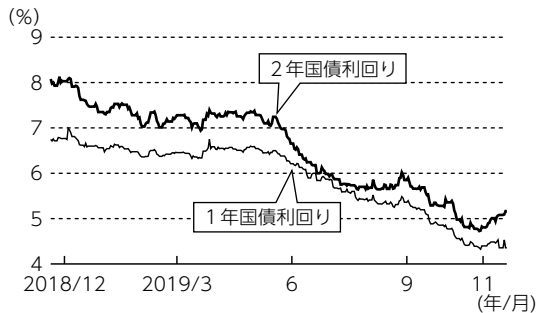
基準価額は、為替変動（リアル安・円高）におけるマイナス（下落）要因が、組入債券からの利子収入や価格変動などのプラス（上昇）要因を上回ったことにより値下がりしました。

投資環境について

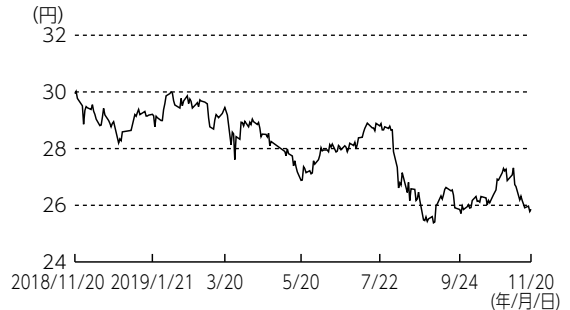
当期、ブラジル・レアル建て国債の利回りは大きく低下（債券価格は上昇）しました。期の序盤、ボルソナロ新大統領が誕生し、新政権が掲げる年金改革への期待感や、米国長期金利の低下に連れて、ブラジル・レアル建て国債の利回りは低下して始まりました。2019年2月以降は、年金改革法案における先行き不透明感、国内インフレ率の低位安定、米中通商交渉などの材料が交錯する中、ブラジル・レアル建て国債の利回りは狭いレンジ内でもみ合う展開となりました。期の後半、年金改革法案の成立見通しの高まりのほか、ブラジル中央銀行（BCB）および米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ観測などを背景に、ブラジル・レアル建て国債の利回りは低下基調で推移しました。期の終盤、2019年10月に年金改革法案の成立を受け、国債利回りは更に低下しました。期末にかけて国債利回りは幾分反発したものの、結局、前期末比で大きく低下して期末を迎えました。

ブラジル・レアルは対円で下落しました。期の前半、世界経済の減速懸念、米国の利上げ休止観測や、一進一退する米中通商交渉、国内の年金改革法案をめぐる動きなどに反応して、ブラジル・レアルは上下に振れながらも上値の重い展開となりました。期の後半に入り、年金改革法案の進展期待のほか、FRBの早期利下げ観測などを背景に、ブラジル・レアルは反発に転じました。しかし、その後、BCBが国内景気を下支えるべく2019年7月以降相次ぐ利下げを決定したことや、米中通商協議に対する警戒感などから、ブラジル・レアルは下げ足を強めました。期の終盤、年金改革法案が最終的に可決したことで、投資家心理の改善や今後の更なる経済改革への期待感などにつながり、ブラジル・レアルは幾分値を戻したものの、結局、ブラジル・レアルは円に対し下落して期末を迎えました。

ブラジル・レアル建て国債市場
＜ブラジル国債利回り＞



ブラジル・レアル／円レートの推移



出所：リフィニティブのデータをもとに当社作成

ポートフォリオについて

主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等の発行するブラジル・リアル建て債券に投資し、ブラジル債券市場の動向に概ね連動させるように運用を行いました。

期末現在において、デュレーションについては期初比で小幅短期化、組入銘柄については固定利付債の投資比率を下げ、インフレ連動債の投資比率を高めました。

ベンチマークとの差異について

投資対象市場の値動きを示す適切な指数がないため、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

今後の運用方針

投資環境の見通し

ブラジル政府は、引き続き大規模な税制改革、行政改革（公務員の人件費削減など）、州や市への税収配分の見直し、国営企業の民営化、自由貿易協定、規制緩和などの様々な改革に取り組んでいますが、これらの改革のほとんどは、2020年の議会における審議を経る必要があるため時間を要すると考えています。今後の市場の焦点は経済回復の兆しに移っており、改革がもたらす投資の増大や企業信頼感の改善効果などに注目しています。2019年7-9月の同国GDP成長率は、投資増大による恩恵などから予想よりも早いペースで改善傾向にあり、企業信頼感の回復、雇用創出も拡大傾向にあるほか、年末商戦などの個人消費もこれまでのところ好調な状況がみられます。

金融政策において、ブラジル国内のインフレ率は概ね低位安定しており、2019年の年内および2020年の同国インフレ率はBCBのインフレ目標水準を下回ることが予想されます。よって、BCBは2019年12月の会合で利下げを講じ、以後の利下げについてはいったん停止し、これまで実施した利下げの効果を見極めると考えられます。

今後の運用方針

主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等の発行するブラジル・リアル建債券に投資し、ブラジル債券市場の動向に概ね連動させるように運用を行います。ポートフォリオ戦略については、市場対比でのデュレーションの長期化幅を若干縮小しています。また、インフレ連動債の組み入れ比率を高めています。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2018/11/21~2019/11/20		項目の概要
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	11円 (11)	0.077% (0.077)	その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用 海外の税務手続きに関する費用等
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	11	0.077	

※期中の平均基準価額は14,282円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

期中の売買及び取引の状況 (自 2018年11月21日 至 2019年11月20日)

公社債

		買付額	売付額
外国		千ブラジル・レアル	千ブラジル・レアル
ブラジル			
国債証券		186,472	368,669 (232,804)

(注1) 金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

主要な売買銘柄 (自 2018年11月21日 至 2019年11月20日)

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
BRAZIL-LTN 0% 21/7/1(ブラジル)	1,315,278	BRAZIL-LTN 0% 20/1/1(ブラジル)	2,856,614
BRAZIL-LTN 0% 22/1/1(ブラジル)	1,035,672	BRAZIL NTN-F 10% 23/1/1(ブラジル)	1,675,633
BRAZIL-LFT /FRN 25/3/1(ブラジル)	852,741	BRAZIL NTN-F 10% 21/1/1(ブラジル)	1,601,870
BRAZIL NTN-B 6% 26/8/15(ブラジル)	556,847	BRAZIL NTN-B 6% 23/5/15(ブラジル)	1,412,739
BRAZIL NTN-B 6% 24/8/15(ブラジル)	542,636	BRAZIL NTN-B 6% 21/5/15(ブラジル)	485,713
BRAZIL-LTN 0% 20/4/1(ブラジル)	521,301	BRAZIL-LFT /FRN 21/3/1(ブラジル)	440,451
BRAZIL-LFT /FRN 24/9/1(ブラジル)	438,560	BRAZIL-LTN 0% 19/1/1(ブラジル)	419,448
		BRAZIL-LFT /FRN 23/9/1(ブラジル)	372,339
		BRAZIL-LTN 0% 21/7/1(ブラジル)	302,971
		BRAZIL NTN-F 10% 25/1/1(ブラジル)	280,540

(注1) 金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注2) 国内の現先取引によるものは含まれておりません。

利害関係人等との取引状況等 (自 2018年11月21日 至 2019年11月20日)

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

組入資産明細表 (2019年11月20日現在)

外国(外貨建) 公社債

①種類別開示

区 分	当 期				末			
	額 面 金 額	外貨建評価額	邦貨建評価額	組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入れ比率		
						5年以上	2年以上	2年未満
ブラジル	千ブラジル・レアル 532,531	千ブラジル・レアル 1,157,548	千円 29,934,204	% 99.0	% 99.0	% 11.9	% 42.2	% 44.9
合 計	532,531	1,157,548	29,934,204	99.0	99.0	11.9	42.2	44.9

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) -印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

②個別銘柄開示

銘 柄 名	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ブラジル)	%	千ブラジル・レアル	千ブラジル・レアル	千円	
国債証券					
BRAZIL NTN-B 6%	6	11,945	41,805	1,081,081	2021/5/15
BRAZIL NTN-B 6%	6	23,000	84,552	2,186,522	2022/8/15
BRAZIL NTN-B 6%	6	9,230	34,104	881,944	2023/5/15
BRAZIL NTN-B 6%	6	19,140	73,370	1,897,351	2024/8/15
BRAZIL NTN-B 6%	6	5,700	22,534	582,752	2026/8/15
BRAZIL NTN-F 10%	10	37,231	40,708	1,052,716	2021/1/ 1
BRAZIL NTN-F 10%	10	7,770	8,955	231,595	2023/1/ 1
BRAZIL NTN-F 10%	10	72,000	85,801	2,218,830	2025/1/ 1
BRAZIL-LFT /FRN	-	8,550	88,962	2,300,565	2021/3/ 1
BRAZIL-LFT /FRN	-	10,000	104,045	2,690,609	2021/9/ 1
BRAZIL-LFT /FRN	-	2,800	29,127	753,232	2022/9/ 1
BRAZIL-LFT /FRN	-	5,395	56,115	1,451,155	2023/3/ 1
BRAZIL-LFT /FRN	-	11,000	114,516	2,961,388	2023/9/ 1
BRAZIL-LFT /FRN	-	3,600	37,472	969,038	2024/3/ 1
BRAZIL-LFT /FRN	-	1,500	15,611	403,716	2024/9/ 1
BRAZIL-LFT /FRN	-	3,000	31,219	807,335	2025/3/ 1
BRAZIL-LTN 0%	-	48,970	48,710	1,259,644	2020/1/ 1
BRAZIL-LTN 0%	-	20,000	19,684	509,050	2020/4/ 1
BRAZIL-LTN 0%	-	145,750	141,958	3,671,052	2020/7/ 1
BRAZIL-LTN 0%	-	42,350	39,188	1,013,408	2021/7/ 1
BRAZIL-LTN 0%	-	43,600	39,103	1,011,212	2022/1/ 1
合 計	-	-	-	29,934,204	-

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

投資信託財産の構成

(2019年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 29,934,204	% 98.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	607,862	2.0
投 資 信 託 財 産 総 額	30,542,066	100.0

(注1) 金額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (30,541,684千円) の投資信託財産総額 (30,542,066千円) に対する比率は100.0%です。

(注3) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=108.61円、1ブラジル・レアル=25.86円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年11月20日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	30,899,688,897円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	304,512,825
公 社 債(評価額)	29,934,204,369
未 収 入 金	660,971,703
(B) 負 債	663,622,659
未 払 金	357,622,659
未 払 解 約 金	306,000,000
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	30,236,066,238
元 本	21,878,737,470
次 期 繰 越 損 益 金	8,357,328,768
(D) 受 益 権 総 口 数	21,878,737,470口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	13,820円

[元本増減]

期首元本額	30,710,575,195円
期中追加設定元本額	1,042,859,360円
期中一部解約元本額	9,874,697,085円
1 口 当 た り 純 資 産 額	1.3820円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

UBSブラジル・レアル債券投信 (毎月分配型)	15,598,649,434円
UBSブラジル・レアル債券投信 (年2回決算型)	6,280,088,036円

損益の状況

(自2018年11月21日 至2019年11月20日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	2,410,728,383円
受 取 利 息	2,410,773,199
支 払 利 息	△ 44,816
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 4,108,032,800
売 買 益	1,157,010,720
売 買 損	△ 5,265,043,520
(C) 信 託 報 酬 等	△ 28,915,283
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 1,726,219,700
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	13,854,710,743
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	455,140,640
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 4,226,302,915
(H) 計 (D+E+F+G)	8,357,328,768
次 期 繰 越 損 益 金(H)	8,357,328,768

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。